

# 海外生活 エッセー

ニューヨーク事務所

## アメリカ全土で話題沸騰中のピックルボール

(一財)自治体国際化協会ニューヨーク事務所 所長補佐 米納 一樹 (熊本市派遣)

近年、アメリカではピックルボールというスポーツが急速に人気を博しており、競技人口は2024年には約1,360万人を記録し、最も成長しているスポーツの1つです。ニューヨーク市内にも複数の専用コートが整備され、週末には多くの人で賑わっています。私もピックルボールに熱中している一人として、今回は、その特徴や魅力についてご紹介します。

### → どんなスポーツ？

ピックルボールは、テニス・卓球・バドミントンの要素を組み合わせたラケットスポーツで、バドミントンと同じ広さ(13.4m×6.1m)のコートで行われます。中央にはネットが張られ、使用するラケットは「パドル」と呼ばれ、卓球のラケットを大きくしたような形状です。



筆者が愛用するパドル。プラスチック製のボールは軽く、表面に穴を空けることで、風の抵抗によりボールの速度が抑えられ、ラリーが続きやすくなる工夫が施されている

ゲームはシングルス(1対1)またはダブルス(2対2)で行われますが、ダブルスが主流です。通常は11点先取で勝ちとなり、主なルールは次の通りです。

#### 【サーブの方法】

- アンダーハンドサーブ (ボールを腰より下で打つ)
- 対角線上の相手コートに入れる
- サーブ権は1回のみ (ミスすると相手に交代)

#### 【ボールの返し方 (ツーバウンドルール)】

- サーブを受けた側は1度バウンドさせてから打ち返す
- サーブした側も1度バウンドさせてから打ち返す
- 3回目以降のラリーはノーバウンドでもOK

また、ネットから2.1mの範囲は「キッチン」と呼ばれ、このエリアではノーバウンドで打つことができません。テニス経験のある筆者は、今でもネット付近でボレーやスマッシュを決めたくありませんが、ピックルボールではキッチン外でしか打てないことに注意が必要です。

### → 人気の理由は？

ピックルボールの最大の魅力は、その手軽さと誰でも楽しめる点にあります。ルールがシンプルで、初心者でも短時間で基本を習得できるため、老若男女問わず参加しやすいです。私は、渡米後にピックルボールを通じて交友関係を広げ、さまざまな国の方との親交を深めています。今年には大会に出ることを目標にしており、まだまだ認知度が低い日本でもその魅力を発信していきたいです。



ある日の練習風景。冬の寒さが厳しいニューヨークで、屋内でも楽しめるスポーツとしても人気を集めている